

岐阜県議会議長 様

教員未配置・免許外授業の解消、保護者負担の軽減、教育条件の改善を！

2026年度 すべての子どもたちにゆきとどいた教育を求める請願

1. 子どもたちにゆきとどいた教育を保障するため、以下のことをすすめてください。

- (1) 教員の未配置や「無免許」(免許外教科)の授業を解消してください。
- (2) 支援を要する児童・生徒に対応する加配教員や支援員を増やしてください。
- (3) 小中学校および高校の30人以下学級をすすめてください。
- (4) 特別支援学級の編成は6人以下、2学年以内にしてください。
- (5) 拙速な学校統廃合をやめ、地域住民の意見を十分聞くよう市町村に働きかけてください。

2. 保護者負担を軽減してください。

- (1) 高校生等奨学給付金の対象者や額を増やしてください。
- (2) 教材費や部活動費、宿泊学習費、タブレット端末費などの負担を軽減してください。
- (3) 高校進学等の準備金3万円支給を県の事業として復活させてください。

3. 市町村への支援を含め、環境整備をすすめてください。

- (1) 体育館のエアコン設置や断熱材の設置など、学校施設の熱中症対策をすすめてください。
- (2) 熱中症対策のため、冷凍庫等の設置を進めてください。
- (3) 小中学校のトイレの個室に生理用品の配置を働きかけてください。

氏 名 「〃」は不可	住 所 「〃」や、「同上」は不可。必ず番地までご記入ください。
	都道 府県
	都道 府県
	都道 府県
	都道 府県
	都道 府県

【郵送先】 ゆきとどいた教育をすすめる岐阜県実行委員会 ●氏名・住所は他に利用しません
〒500-8879 岐阜市徹明通7-13 岐阜県教育会館201号 TEL058-215-7301

切り取らずに11月27日までにお届けください。



県・国の両方にご署名ください。一筆だけでもかまいません。

衆議院議長 様 参議院議長 様

国の責任による「20人学級」を展望した少人数学級の前進、
教職員定数増、教育無償化、教育条件の改善を！

2026年度 すべての子どもたちにゆきとどいた教育を求める全国署名

- 1. 教育予算をOECD諸国並みに計画的に増やしてください。
- 2. 義務・高校標準法を改正し、国の責任で、中学校、高校での35人以下学級を早期に実現してください。全ての校種で少人数学級をさらに前進させてください。幼稚園や特別支援学級・学校等の学級編制標準の引き下げをすすめてください。
- 3. 有期雇用ではなく、正規・専任の教職員を増員してください。
- 4. 教育費の保護者負担を軽減するとともに教育無償化をすすめてください。
 - (1) 高校・大学等の学費無償化や高校生・大学生等への給付奨学金制度の拡充をすすめてください。
 - (2) 私学経常費助成補助の増額と高等学校等就学支援金を授業料以外へも支給対象を拡げるなどにより、学費負担の公私間格差をなくしてください。
 - (3) 給食無償化を実現し、安全安心で豊かな給食を提供できるよう、自治体への財政支援をすすめてください。
 - (4) 教育活動に必要な費用への保護者負担が発生しないよう公費の補助を拡充してください。
 - (5) 通学費が発生している児童・生徒への補助を行ってください。
- 5. 公立・私学ともに安全安心な環境のもとで学ぶことができるよう、教育条件や施設の改善をすすめてください。
 - (1) 特別支援学校の過大・過密や教室不足の解消のため、国による財政支援の拡充、学校新設や既存校への「特別支援学校設置基準」の確実な適用をすすめてください。
 - (2) 学校の耐震化・老朽化対策、洋式トイレやエアコンの普及、バリアフリー化をすすめてください。
- 6. 能登半島地震や東日本大震災などの自然災害、東京電力福島第一原発事故の被害を受けた子どもを守り、学校と地域の要望を反映した復旧・復興を継続してすすめてください。

氏 名 「〃」は不可	住 所 「〃」や、「同上」は不可。必ず番地までご記入ください。
	都道 府県
	都道 府県
	都道 府県
	都道 府県
	都道 府県

ゆきとどいた教育をすすめる会 ●氏名・住所は他に利用しません
〒102-0084 東京都千代田区二番町12-1 全国教育文化会館3階

募金は任意です。ぜひご協力をお願いします。署名用紙製作、郵送などの費用にあてます。
【郵便振替】 00890-1-188232 【名義】 ゆきとどいた教育をすすめる岐阜県実行委員会

募金額